

自己資本の構成に関する開示事項(平成30年6月期)

平成26年金融庁告示第7号に基づく「自己資本の構成に関する開示事項」は、以下の通りであります。

【連結】

(単位：百万円、%)

項目	平成30年6月末		平成30年3月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	417,238		408,502	
うち、資本金及び資本剰余金の額	76,436		76,436	
うち、利益剰余金の額	342,618		336,148	
うち、自己株式の額(△)	1,816		1,813	
うち、社外流出予定額(△)	-		2,268	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
コア資本に算入されるその他の包括利益累計額	△ 2,576		△ 2,655	
うち、為替換算調整勘定	-		-	
うち、退職給付に係るものの額	△ 2,576		△ 2,655	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	532		511	
コア資本に係る調整後非支配株主持分の額	-		-	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	85		89	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	85		89	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		16,000	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	△ 5		△ 5	
非支配株主持分のうち、経過措置によりコア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	1,161		1,147	
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	416,436		423,590	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	1,649	412	1,657	414
うち、のれんに係るもの(のれん相当差額を含む。)の額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	1,649	412	1,657	414
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	13	3	13	3
適格引当金不足額	11,753		12,017	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
退職給付に係る資産の額	-	-	-	-
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	17	4	16	4
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	13,434		13,704	
自己資本				
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	403,002		409,885	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	3,412,388		3,444,183	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	424		425	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	412		414	
うち、繰延税金資産	3		3	
うち、退職給付に係る資産	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-		-	
うち、上記以外に該当するものの額	8		7	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	152,809		152,809	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	3,565,198		3,596,993	
連結自己資本比率				
連結自己資本比率 ((ハ)÷(ニ))	11.30		11.39	

【単体】

(単位：百万円、%)

項目	平成30年6月末		平成30年3月末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	403,643		395,310	
うち、資本金及び資本剰余金の額	72,720		72,720	
うち、利益剰余金の額	332,739		326,668	
うち、自己株式の額(△)	1,816		1,813	
うち、社外流出予定額(△)	-		2,265	
うち、上記以外に該当するものの額	-		-	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	532		511	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	8		8	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	8		8	
うち、適格引当金コア資本算入額	-		-	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		16,000	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	-		-	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	△ 5		△ 5	
コア資本に係る基礎項目の額	(イ) 404,179		411,824	
コア資本に係る調整項目				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	1,557	389	1,574	393
うち、のれんに係るものの額	-	-	-	-
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	1,557	389	1,574	393
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	-	-	-	-
適格引当金不足額	14,566		14,923	
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	-	-	-	-
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	-	-	-	-
前払年金費用の額	-	-	-	-
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	17	4	16	4
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	-	-	-	-
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	-	-	-	-
特定項目に係る十パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	-	-	-	-
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	-	-	-	-
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	-	-	-	-
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	-	-	-	-
コア資本に係る調整項目の額	(ロ) 16,141		16,514	
自己資本				
自己資本の額((イ)-(ロ))	(ハ) 388,038		395,309	
リスク・アセット等				
信用リスク・アセットの額の合計額	3,411,712		3,441,372	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	397		400	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	389		393	
うち、繰延税金資産	-		-	
うち、前払年金費用	-		-	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	-		-	
うち、上記以外に該当するものの額	7		7	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	145,835		145,835	
信用リスク・アセット調整額	-		-	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	-		-	
リスク・アセット等の額の合計額	(ニ) 3,557,548		3,587,208	
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)÷(ニ))	10.90		11.01	